みやき町立中原中学校　学校だより　No.14

櫨紅葉（はぜもみじ）

【学校教育目標】
ふるさと中原を担う
志をもった生徒の育成
～自律と協働の学校づくりを通して～

発行：令和５年３月９日（木）　（文責）　校長　田 中　克 三

※３年生は今号がラスト。よって、３年生卒業特集号です。

いよいよ明日は、第76回卒業証書授与式

３月９日（水）、翌日に卒業式を控えた３年生に対し、９年間の義務教育課程の締めくくりとなる３年生の修了式を執り行いました。前日までの２日間、多くの３年生が県立高校一般選抜入試を終えたばかりで、ほっと一息つきたいところですが、時は待ってくれません。明日はいよいよ「第７６回卒業証書授与式」です。

３年生の修了式では、２人の車いすテニスプレーヤーの話をしました。以下が概要です。※文字ばかりですみません。

みなさんは、「国枝慎吾（くにえだ　しんご）」という車いすテニスプレーヤーを知っていますか。彼は、車いすテニス界の第一人者で、今年１月に世界ランキング１位のまま引退したのですが、これまでにグランドスラムと呼ばれる世界四大大会（全英、全米、全仏、全豪）の制覇とパラリンピックで金メダルを取るという快挙を成し遂げ、先日、国民栄誉賞の授与が決定したスーパー・スターです。

もう一人、同じ車いすテニスプレーヤーの「小田凱人（おだ　ときと）」という選手を紹介します。彼は昨年の１１月、世界ランキング上位の選手だけが競う大会において、史上最年少の１６歳で優勝し、年間王者に輝いた国枝選手の後継者と言われている青年です。

もともと小田選手は、プロサッカー選手を夢見るサッカー少年でした。しかし、彼が９歳の時、骨のがんである「骨肉腫」と診断され、その影響で、左足の一部を切断し、歩くこともままならなくなったのです。

サッカー選手としての命である足の一部を失い、打ちひしがれていた小田少年を勇気づけた人物こそ、初めに紹介した国枝慎吾選手だったのです。手術後の病室のテレビに映っていたのは、当時行われていたロンドンパラリンピックの決勝戦。自分と同じように足が自由に動かなくとも、巧みに車いすを操り、力強いショットを打ち込む・・・世界を圧倒する国枝選手の姿が、小田少年の心に灯をともしたのです。―――「次は、サッカーではなく、車いすテニスの世界一になる」・・・目標を切り替えた小田少年は、その後２度にわたりがんが肺に転移するなど、度重なる困難に挑戦を阻まれますが、新たな夢を諦めることは、決してありませんでした。

こうして、小田選手は、車いすテニス界での史上最年少記録を次々と更新する活躍をみせ、驚くほどのスピードで国枝選手と肩を並べるほどの有力選手に成長したのです。

小田選手の言葉をいくつか紹介します。

- ●自分の病気は何万人に１人。選ばれたつもりで、胸を張る！
- ●『死ぬんじゃないかな』っていうくらいの数値が出た。でもそれは、誰もしたことがないような経験。すごくラッキー！
- ●うまくいくわけがない。うまくいかないのが、僕の中での普通。そこでくじけたりっていうのは全くない！
- ●リハビリや治療は自分への神様からの挑戦。『乗り越えられるかな』って与えられた気がする！

小田選手がテニスを始めて世界のトップに立つまで７年間・・・これをすごいスピードとみるか、長い長い積み重ねとみるか・・・

さて、皆さんのこの３年間はどんな３年間だったですか？楽しかったことばかりでなく、辛かったこと、悲しかったこと、歯がゆかったことなど、たくさんのことがあったと思いますが、それを自分の「こやし」として、次につなげて歩んで行ってほしいと思います。

最後にお願いです。出会った人とのつながりを大事にして、明日の卒業式をすばらしい式典にしましょう。これからも一生懸命に自分の道を切り開き、自分の夢をつかむことを願って、３年生修了式の話とします。

いざ、本番！自分を信じて

～3.7、3.8 県立高一般選抜入試～

３月７日（火）と８日（水）の両日、県立高校の一般選抜入試が実施されました。中原中からは１０校に４５名が受検。心配していたコロナやインフルエンザの感染者もなく、志望校への合格を目指し、これまで積み上げてきた自分の努力を信じて、検査や面接に挑みました。

合格発表は、３月１４日（火）９時となっています。きっと、努力は実る！

【緊張の面持ちで会場に入る３年生と見守る北島先生】

私たちも一緒に挑む！

～内定組は、教室等を心込めて清掃～

４５名が自分の目標への挑戦をしている頃、一足先に志望校の合格内定を決めた生徒たちは、卒業式に向けて、１年間お世話になった教室やトイレなどの清掃活動を行いました。椅子に貼られたネームシールや掲示物なども心を込めて丁寧に剥がし、元どおりきれいになりました。

思いは、入試に挑んでいる友と共にあり！

【巣立つ日のために、感謝を込めて】

3年間、ごちそうさまでした

～3.6 3年生給食最終日～

３月６日（月）は、３年生の給食最終日でした。この日のメニューは、高校入試を突破するため験（げん）を担（かつ）いで「トンカツ」がメインでした。３年生だけ「プリンタルト」のデザートも付いていました。

【やっぱりラストはトンカツ！　揚げ・上げ＝合格！】

給食準備中の教室前を訪れると、３年間の感謝を込めて、一粒たりとも残すまいと山盛りに次ぎ分ける当番の姿が・・・。結果、見事に食缶は空っぽになりました。

【最後のひとすくいまでいただきます】

天気も春の日差しが爛漫とした最高の一日。さぞかしワイワイ賑やかに食べているのかなと教室をのぞくと、これまでと同じように全員が行儀よく前を向いて、黙食。―――そうか、これがこの３年間の日常なのか・・・

【本当はワイワイ話したかった…】

それでも、おいしそうにトンカツをほおばる３年生の姿に一安心。給食センターの方々、関係者の皆様、子どもたちの健康と成長のためにおいしい給食を提供していただき、ありがとうございました。

３年間、毎日、ごちそうさまでした！